

輝く 田底っ子

第23号

文責：校長 益永 一幸

2学期は「コロナに負けない、田底小の本気の力を出す」学期にします

2学期始業式で子どもたちに校長から話した内容です。

今朝はみなさんの元気な登校の様子を見ることができて、校長先生はとてもうれしかったです。今年の夏も新型コロナウイルス感染症のまん延で、思いっきり遊んだり、出かけたりすることができなかつた夏でしたね。校長先生も夏休み中は、家で読書したり、外でランニングをしたりして過ごしていました。

今年は東京でオリンピック・パラリンピックが開催され、テレビで様々なスポーツを見て、「上手だな」と感動したり、「がんばれ」と応援したりしたと思います。校長先生も、スポーツを見たり、スポーツを自分でしたり、応援したりすることが大好きなので、東京オリンピック・パラリンピックを楽しみに見ました。そして、学んだことがありました。それは、どの試合も「絶対勝つぞ！負けるものか！いい記録を出すぞ！」と闘争心をむき出して戦っていました。試合が終わり結果や勝負が決まります。勝った人は涙を流してガッツポーズ。負けた人は悔し涙でがっくり肩を落としている姿が見られました。それは、今まで選手がどれだけがんばってきたかを証明する姿であり、そこにとても感動しました。でも校長先生が感動したのはそれだけではありません。試合が終わったその後の場面です。勝った選手も負けた選手も互いに「頑張ったね。」と握手したり、ハグしたり、礼をしたりしていたことです。勝った人は負けた人の悔しい気持ちに寄り添い、負けた人は悔しいけど勝った選手を称える姿はとても美しく見えました。試合中は敵ですが、試合が終わった後は、「仲間」になっていたのです。互いに自分の目標のために苦しい練習を頑張ってきた人同士が感じ合う気持ちが出ていた姿だと思います。

さあ、今日から2学期が始まります。みなさんに2学期に頑張ってもらいたいことが2つあります。まず一つは、このオリンピック・パラリンピックの選手たちのように、「テストでいい点数を取るぞ」「運動をがんばるぞ」「授業は集中するぞ」など、自分の目標を決めて一生懸命頑張ってもらいたいということです。そして、友達の「頑張ったことやよかったところ」を認め合ったり、「悲しい気持ち」に寄り添い合ったりすることも大切です。2学期は、さらに「自ら進んで学び、互いに高め合おう」とする学期にしましょう。そして、それができれば自然と「自分と周りの人を大切にする」ことができます。

そして、2つ目に頑張ってもらいたいことは、新型コロナ感染の予防を一人一人がしっかり実行してほしいということです。授業中よりも、休み時間や登下校中が濃厚接触になることが大きいということが言われています。2学期は運動会などの行事もたくさん予定しています。コロナ感染予防をしっかり実行し、コロナに負けない田底小の本気の力を出していきましょう。期待しています。

祝 熊本市小体連女子ミニバス大会優勝



7月24日（土）熊本市小体連女子ミニバス大会が長嶺小・月出小・隈庄小の3会場で開催されました。田底小は長嶺小会場で試合があり、川尻小と長嶺小に大差で勝利し、見事優勝しました。これまでの部活動での頑張りが実を結びました。おめでとうございます。

学校と家でコロナ感染予防をしっかりと！

学校では



- ① これまで行ってきた感染予防を確実に実施します
 - ・教室の換気（CO2モニターを設置し、換気の状態をチェックします）
 - ・マスク着用（室内ではマスクを着用します）
 - ・手洗い（外から室内に入る前に、給食前後、トイレ後、掃除後）
 - ・三密を避ける（集会中止、机の間を開ける、対面しない）
 - ・給食時の黙食
 - ・具合が悪くなった児童は、保護者への引き渡し
- ② 新たな取組も行います
 - ・児童玄関前に消毒液を設置（登下校時には、必ず手指消毒）
- ③ 学級目標にコロナ感染予防の目標を掲げます

家庭では



- ① 朝から必ず「検温」と「体調チェック」
必ず、朝からのお子様の「検温」と「体調チェック」をしてください。
- ② 不要不急の外出を控える
家庭内感染が多い状況です。学校でのクラスターが発生しないよう、不要不急の外出はお控えください。
- ③ 同居者にPCR検査を受ける人がいたら、必ず連絡
職場等で濃厚接触者となりPCR検査を受ける必要が生じた場合は、至急学校に連絡して下さい。また、お子様は用心のため、家庭で過ごすようにして下さい。